

令和5年度第2回天童市総合教育会議議事録

総務部総務課

1 日時 令和6年3月28日(木) 午後1時30分から午後2時20分まで

2 場所 本庁舎「3階会議室」

3 出席者

(1) 出席構成員

天童市長	山本信治	教育長	相澤一彦
教育委員	村山晴香	教育委員	松村昌子
教育委員	大内あゆ子	教育委員	工藤昭広

(2) 説明のため出席した者の職氏名

教育次長	秋保泰志	学校給食センター所長	大沼敦
学校教育課長	鎌田さとみ	生涯学習課長	押野一貴
教育総務課課長補佐兼庶務係長	蜂谷幸太		

(3) 事務局職員の職氏名

総務部長	松浦和人	総務課長	吉田聖志
総務課課長補佐兼行政係長	丸子正彦		
総務課主任	佐藤穂乃佳		

4 議事録署名員 教育長 相澤一彦

5 次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 協議・調整事項

ア 教育大綱に基づく令和6年度の教育方針について

イ 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について

(4) 閉会

6 会議の内容

発言者	発言内容
丸子課長補佐 (司会)	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(1) 山本市長</p> <p>(2) 相澤教育長</p>
山本市長	<p>3 協議・調整事項</p> <p>それでは議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>まず、天童市総合教育会議運営要綱第4条第2項の規定により、議事録署名員を指名させていただきます。</p> <p>相澤教育長にお願いしたいと思います。</p>
相澤教育長	<p>はい。</p> <p>(1) 教育大綱に基づく令和6年度の教育方針について</p>
山本市長	<p>最初に、「教育大綱に基づく令和6年度の教育方針について」説明を求めます。</p>
相澤教育長	<p>(資料に基づき説明)</p>
山本市長	<p>ただ今説明がありましたが、皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
村山委員	<p>パワーアップイングリッシュに参加した娘からは、とても楽しかったと聞いている。英語を通して他の学区の友達と交流することができた事の嬉しさはあったのではないかな。</p> <p>普段は決まった学区のALTとしか会えないが、他の学区のALTと会う事ができ良かったのではないかな。</p> <p>教育委員会の会議でも申し上げたが、つどーむ天童は、時期によって通いづらい地区があり、例として山口地区は冬場や炎天下の夏場は通いづらいため、各学区にバスの送迎があれば、もっと参加者が増えるのではないかな。</p>

<p>鎌田学校教育課長</p>	<p>あと、各中学校で開催し、なるべくその学区の子どもたちが参加しやすいようにし、また、その学区以外の子どもたちも参加できるようにすることで、交流の面でも続けていくことができると思う。</p> <p>また、その発展として英語部ができたらよりパワーアップイングリッシュになるのではないかと考えている。</p> <p>今年度初めての事業として、長期休業中を使い、夏休みに3回、冬休みに2回、春休みに3回と合計8回のコースで始めている。</p> <p>最後の回に子どもたちから様々なアンケートを取ったところ、自分の学校だけではなく市内4つの中学校と関われる良い機会ができた、英語の力も付いてきたような気がする、積極的に話ができるようになった、ALTの先生が自分の学校だと1人だが、8人に集まるので他のALTの先生と会話できて楽しかった、戻ったら英語を頑張りたいという感想が寄せられた。</p> <p>内容につきましては、初年度のため、まだまだ改良していく余地があるので、さらに良くしていきたい。</p> <p>いただいた意見につきましては、送迎の問題であったり、場所の問題であったり、これらを含めて検討しながらより良く多くの子どもたちが参加できるように改善していきたい思っている。文化部として英語のクラブができ、その人たちもパワーアップイングリッシュに参加してもらいたいと思っている。</p>
<p>大内委員</p>	<p>資料の人づくりの土壌を整える施策を推進の(1)で、商工会議所と連携して、子どもたちが社会とつながることはとても素晴らしいことだと思う。いろんな仕事があると分かって子どもたちも勉強になったのではないかな。</p> <p>小学生の社会体験は表面的なことですが、それも大切なことで、それをもっと深く各中学校で体験することで、企業とはこういうものだと勉強になるのではないかな。今後学力が上がり進学する子どもたちが増える中で、職人という専門的技術に興味を持っていただけるとうれしい。企業と調整しながら続けていきたい。</p> <p>あと、(3)のスポーツや芸術文化活動の件で、部活動の</p>

<p>鎌田学校教育課長</p>	<p>地域移行についてふれているが、子どもたちだけではなく、実は親たちも地域移行してもらいたいと考えていると思う。まだ親たちは今までの部活動のイメージがあると思うので、親の気持ちから変えていくような説明を優しくしていただき、どんどん時代も変わり、スポーツや芸術文化活動も変わっていくとの説明ではなく、分かりやすいイメージで話をしてください。</p> <p>商工会議所が主体となる校外学習につきましては、学校、子どもたちからの良い評価をいただいている。コロナの前は職場体験として、中学校二年生が各企業や職場に出向いて体験する機会が多かったが、コロナ禍もあって、教育課程の中で時間を取ることが難しいという状況になったが、この度このような機会を与えてくださり、非常に良かったと思う。</p> <p>様々なやり方や希望の取り方を工夫しながらさらにより良いものになるように来年も続けていただくように協議していきたいと思っている。</p> <p>それから地域移行につきましては、議員からたくさん的一般質問があったとのことで、市民の方々に周知がなっていないとしみじみ感じた。今後の予定では、各学校のPTA総会で保護者がいる時に、地域移行については、学校ではこのように進んでいると記載したプリントを配布したり、コーディネーターに来ていただいて説明会等を開催していきたいと考えている。</p>
<p>松村委員</p>	<p>村山委員と大内委員からも意見が出ているが、地域移行は大変大きな改革になるかと思うが、天童市がどのように推進していくか非常に楽しみである。その一方で、スポーツや芸術文化活動に非常に興味があり、私共の芸術文化協会も大改革をしているところだが、一中の吹奏楽部が芸術文化協会に加盟してくださると言ってくださっており、芸術文化協会の総会を通して承認することにはなるが、大歓迎である。それ一つとっても学校と芸術文化協会だけでなく様々な地域との関わり方が変わってくると、もっといろんなネットワークができ、また子ども達の教育に私達の団体も関わって支援できることをうれしく思っている。</p> <p>保護者の方々は共働き等で、世の中の最先端の考え方を学</p>

	<p>ぶ時間が足りない中で、保護者たちが何とか感性や新しい方向性等の基礎的なことが学べる機会をあればと思う。例えばPTA活動の中でそのようなイベントを行う等。</p> <p>また、一人一人を大切にする教育のインクルーシブ教育については、アメリカや欧米の方では15年前から積極的に取り組んでいるという話を聞いている。日本においても積極的にインクルーシブ教育を行う中で、保護者達の考え方もそこについていかないと難しいところはあると思うが、書面でも会合でも良いが説明していただき、少しでも保護者の方に理解していただくことで、素敵な教育や新しい教育のネットワークができるのではないかと思う。</p> <p>一つ目の地域移行のつきましては、そのとおりで一番大きなメリットにしなければならない。壁を取り払う、生徒と地域、社会教育と学校教育、教育委員会と市長部局、文化活動等の壁を取り払いながら、一つのものを作ることが大きいことだと思っている。なぜそれが大きいかというと、例えば学校に将棋部はあるかと思うが、土日に将棋をしたい子は、駅前の将棋交流室で将棋をすることができる。そのようにもっと柔軟にもっとやってみようか、続けてやってみようかという受け皿を作っていきたい。教育委員会として子どもたちの目線から見ると、こちらで作らないとだめ、あっちで作ってくださいではなく、子どもたちが不安にならないようにするために一緒にすることの説明をしていく。</p> <p>二つ目は、理解してもらうことで教育は大きく変わっていくので、基本は教育委員会で情報を発信し、校長会で資料を渡す、PTA総会やいろいろな会合で話しをすることが原則であり、改めて大切だと感じた。</p>
相澤教育長	<p>感想的なことになるが、教育長から話があったとおり、インクルーシブだけという狭めたものではなく、いかにアピールするか、地域にどれだけのニュースが入っているか。</p> <p>資料の一人ひとりを大切にする教育の(1)の特別支援教育の視点を核に、インクルーシブ教育を推進、また、各支援員の視点や活躍を月報で紹介とあるが、月報は各学校に配付すると思うが、保護者には直接渡すわけでもなければ、地域に配布されるわけでもない。そこで、各小中学校のHPで紹介</p>
工藤委員	

相澤教育長	<p>介できないのか、教育長から校長会で話をしてもらい、各校長がプリントを配布し、地域や保護者の方々にアピールすることは当然のことだと思う。今うちの学校ではこのインクルーシブに関わっているとかいじめ不登校の問題に関わっているとこんなことやってますとか、PRできることはあるのではないか、それについては、来年度4月以降の各学校のHPを利活用していただければと思う。</p> <p>工藤委員の話を聞くと、本当はSNSを利用していけば良いかもしれないが、私自身が苦手ということもあり、発信すると別の反応もあり、足を引っ張ってしまう怖さもあることから手を出せないでいる。</p> <p>状況によっては、より有効な活用になると思うので、研究していきたい。</p> <p>(2) 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について</p>
山本市長	<p>次に、「教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について」の「炊飯施設等を活かした今後の給食について」、説明を求めます。</p>
大沼学校給食センター所長	<p>(資料に基づき説明)</p>
山本市長	<p>ただ今説明がありましたが、皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
工藤委員	<p>米飯食缶を利用した麺類の提供とあるが、ソフト麺や中華麺みたいなものを給食センターで製造できるということか。</p>
大沼学校給食センター所長	<p>給食センターでは麺を製造するようなことはできないため、市内や近隣の麺業者から材料の提供に協力いただき、給食センター内で加熱調理や茹でたものを学校に提供したい。</p> <p>麺は基本的に購入することを考えている。</p>
工藤委員	<p>天童市の給食は本当においしいと思っている。</p> <p>今回、麺を製造することはできなくなったが、検討してい</p>

	<p>ただくことで、鳥中華ができるかもしれない、カレーうどんもできるかもしれないといった、わくわくするような給食ができるかもしれない。これらをピーアールし、子どもたちにアンケートを取りながら、可能なかぎり実現できるようにぜひ頑張っていたきたい。</p>
松村委員	<p>娘も給食を楽しみに学校に行っているのですが、麺類がなくなることは子どもにとってはショックな事であり、このように検討していただけることは本当にありがたい。</p> <p>そして、パンについては、私が小さい時に揚げパンというものがあったが、栄養的にはわからないが、揚げパンの提供を検討していただきたいのと、シーズンとは関係ないが、夏場の暑さ対策として冷たいデザート、カキ氷ではないですがそのようなものを提供することは可能か。</p> <p>あと食べ方教室の開催はありがたいが、親が家庭で教えていなかったということもあったと思うので、親も一緒に食べ方教室に参加できたらうれしいなと思っている。</p>
大内委員	<p>せっかくの五目ご飯や赤飯が作れる炊飯器ができたということで、学校がある時は厳しいと思うが、地域の事業等で赤飯を必要な時に、お店ではなく、給食センターで安く提供することはできるのか。</p>
大沼学校給食センター所長	<p>活用について給食センターでもどのような形態ができるのか勉強していきたい。</p>
松村委員	<p>子どもたちがほっとして笑顔になる時間が給食だといつも思っている。私が一番感心していることは、アレルギーの子どもたちのケアが非常に行き届いているということ。私たちの時代と比較すると、アレルギーの子が若干増え、いろいろなアレルギーがあって複雑になっているが、家族でもがんばっているなかで教育の中でもがんばっていただき感謝している。</p>
秋保教育次長	<p>関連しまして、中学生給食費無償化を施策中である。大きな一歩を踏み出せたと思っている。</p>

山本市長	最後に、全体を通して、御意見・御質問はございませんでしょうか。 4 閉会
------	---